

施策評価調書(28年度実績)

施策コード I-4-(3)

政策体系	施策名	地球温暖化対策の推進	所管部局名	生活環境部	
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、商工労働部、農林水産部	

長期総合計画頁 53

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	温室効果ガスの排出抑制対策等の推進	エコエネルギーの導入促進	森林吸収源対策の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	①②	H24	39,374	38,425 (H26)	36,890 (H26)	104.0%	37,000 (H29)	32,000 (H34)						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	節電・省エネに関する行動や意識の定着が図られたことにより排出量が削減され、目標値を達成した。なお、H28年度実績値が未確定のためH28年度の目標値と実績値は直近のH26年度の数値を記載している。		達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、企業、行政が一体となってCO₂削減に取り組む九州版炭素マイレージ制度の実施など、広域的な温暖化対策の取り組みが広がっている。 ・家庭向け省エネ診断の実施(国の事業と合わせて160件)、Web版家庭のエコ診断の実施(87件)、事業所向け省エネ診断の実施(50件)、節電・省エネセミナー、地球温暖化対策講座の開催など、普及啓発の展開等により、節電や省エネ意識の高揚が図られた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県エネルギー産業企業会の取り組みを通して、県内企業のエネルギー産業の活動に対する支援を行い、エコエネルギー導入の促進を図った。 (分野別ワーキンググループの活動支援 9件、展示会出展 7社、トライアル研究開発 1件、各種セミナー開催 10件)
③	<ul style="list-style-type: none"> ・再造林や間伐等の森林整備により、適正な森林管理が図られ、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止など公益的機能の発揮につながった。 ・森林環境税を活用した「森の先生」による森林環境育等を実施し、子どもたちに森の大切さや働きについて伝え、「森林づくり」の意識の醸成を図った。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	地球温暖化対策推進事業	44,039	A	継続・見直し	82
②	エネルギー関連産業成長促進事業	63,602	A	継続・見直し	109
③	(公)造林事業・再造林促進事業	1,951,102	-	-	140

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○おおいたうつくし作戦県民会議(H28.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境はすでに非常に切迫した状況であり、適応策の取り組みにも力を入れてほしい。 	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年3月に策定した「第4期大分県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」における2020年度及び2030年度の家庭・業務・運輸部門の各二酸化炭素排出量の削減目標達成を目指し、各種施策を実施していく。また、緩和策に加え、気候変動による様々な影響への適応策についても、各分野(農林水産業分野、自然生態系分野等)において実施する。 ・大分県の強みである地熱・温泉熱の活用支援や、県民、事業所、市町村などとの連携によるエコエネルギーの導入を促進する。 ・間伐や下草刈りなど適正な森林の管理を推進し、二酸化炭素吸収源対策を推進する。